

2020年1月6日

BS12 トゥエルビ

(ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社)

2020年 年頭の辞

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 代表取締役社長 須磨直樹による全役職員向け
「2020年 年頭の辞」を下記の通りお知らせ致します。

記

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

本年1月1日付で当社代表取締役社長となりました須磨直樹です。いろいろと勉強させて頂きながら、志高く誠実で愉快かつユニークな会社を目指して頑張る所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

昨年は、永年我々をリードしてきた森内社長の基、編成面では、「バビロン・ベルリン」を始めとする話題作の放送が実現。プロ野球中継では「全試合副音声でのビジター応援放送」を実施、新しい視点で番組編成・制作を行い、多くの方々から高いご評価を頂いており、営業面でもスポットセールスの好調維持、国内外パートナーの方々とも関係を深化させ、コンテンツ投資、海外企業との協同セールス等も軌道に乗ってくるなど、様々なチャレンジをした一年で、これらに限らず皆さんの今までの頑張りが実を結んだ一年だったのではと思っております。着実に進化を遂げていると感じております。

2020年は、新たな3か年計画の初年度となります。また、外に目を転じれば、オリンピックイヤーでもあり、新視聴率調査の導入も予定される中、番組編成はこれまでの方針に固執しない、より柔軟な対応が必要になります。放送局としての基本に立ち返る良い機会であり、足元では魅力的かつ斬新でユニークな番組・編成企画力、視聴ターゲットにマッチしたコミュニケーションプラン、パートナーとなるクライアントの皆様との関係作りなど、様々な角度から有効な施策を立案しながらも、「鳥の目」で、人々の生活様式・価値観・視聴環境の変化にも対応していかなければならないと感じており、これらの課題を皆さんの力を結集して取組んでまいりたいと思います。

BS12 トゥエルビは、昨年の12月に開局12周年を迎え、2007年の開局以来、一貫して「良質な放送を通じて、人々のこころを豊かにし、生活の向上に貢献する」ことをミッションに、番組の多様化とクオリティ向上、放送技術深化と設備の充実、新規事業育成などに、一定の成果が出始めていると認識しております。これも視聴者の皆さま、クライアントの皆さまをはじめとするステークホルダーのご支援の賜物です。これらご支援に報いる為にも次の12年ではさらに一回りも二回りも大きく成長できる土台を、全社一丸となって築いていきましょう。

今年も皆さんにとって実りある年になりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

以上